



KAMIGO

～since2015～

上郷中だより 2-12号
令和3年3月26日
横浜市立上郷中学校
横浜市栄区犬山町6-2
電話(892)2478

卒業・進級おめでとう。次への準備を！！

校長 小佐野 和人

寒さもやわらぎ、めっきり春らしくなってきました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、学年行事や学校行事が中止または短縮での実施とせざる得ない状況でした。それでも、「ダメだからやらない！ではなく、どう工夫すれば出来るのか！！」という思いで、教職員と生徒達が一丸となり、乗り越えてきた一年だったと思います。卒業式前恒例の“先輩と後輩の「お別れ会」”は、残念ながら全校生徒が集まることが出来ず、放送での実施となりました。でも、1・2年生の心温まる先輩への感謝そしてエールは素晴らしかったです。感動しました。1・2年生の皆さんご苦労様でした。

義務教育終了そして新しい道への旅立ちの日である「第6回卒業証書授与式」。今年度は保護者の皆さまに体育館に入って頂き、卒業生たちの輝く姿を見て頂くことができ良かったです。式では、3年生一人ひとりに卒業証書を直接手渡すことができました。皆、引き締まった表情で、遅しさを感じた瞬間でした。在校生や地域の方々はいませんでした。厳粛なムードの中、3年間の思い出がいっぱい詰まった、とても感動的な式でした。式を実施できたこと、本当に嬉しく思っています。また、在校生代表として2年小林慈英さんが式に参加し、1・2年生全員の気持ちを立派に伝えていました。3年生もしっかりと受け止めていると思います。

多くの不安の中、第6回卒業証書授与式を無事に実施することができたのは、地域や保護者の方々のご理解はもちろん、陰ながらPTA役員はじめ多くの皆さまが尽力してくださったことが、一番大きかったと実感しています。改めて、上郷中学校は、保護者の皆さま、地域の皆さまのご理解やご協力によって成り立っていると感じました。ありがとうございます。

1・2年生の皆さん、いよいよ4月には後輩たちが入学してきます。これからの上郷中をよろしくお祈りします。新年度の始業式では、目標をもってスタートしてください。学校には家庭にないものがあります。それは仲間です。仲間と一緒に頑張ることから、できないこともできるようになり、一人では味わえない大きな喜びや感動を味わうことができます。学校で、いろいろな人と関わり、お互いの気持ちを思いやることや、自分の言動で相手はどんな反応をするのかを学ぶ事は非常に意義深いことです。学校生活を楽しみましょう。そのためには、「自分に自信・仲間に信頼・人に感謝」です。

私たち教職員も、人とのやりとりの難しさと同時に、人と関わる楽しさを実感させ、心を豊かに育てていけるよう努力していきたいと思っています。

いよいよ、今年度も終わりとなります。保護者の皆さま、お子さまの卒業、進級おめでとうございます。また、PTA・地域の皆さま、生徒たちを様々な場面で支え、見守ってくださり、本当にありがとうございました。心より感謝いたします。令和3年度もよろしくお祈りします。



<上郷中学校ホームページのご紹介> <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/kamigo>

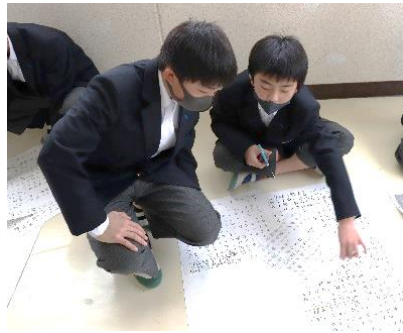
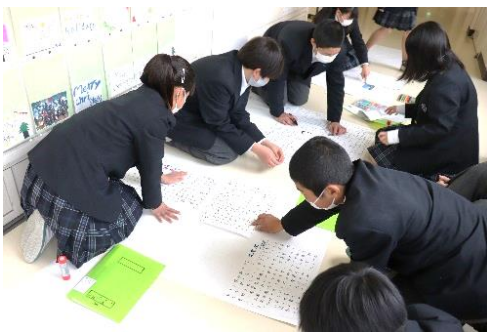
今年度は、「学校だより」の他にも学校全体にかかわる通知文などを掲載しています。

ぜひ、ご家庭で定期的の上郷中学校のホームページをご覧ください。

1年生では、来年度長野県の戸狩で行われる予定の自然教室に向けて、事前学習を行いました。各クラスの生活班に「長野の自然」「長野の農業・林業」「長野の工業」「長野の伝統文化・郷土料理」「長野の方言・観光」「戸狩について」の6つテーマのうち一つずつを割り振り、一人一つから二つの記事を担当し、模造紙大の新聞を作成しました。どの班も協力して仕上げることができました。

その後、各クラスで発表会を行い、自分の書いた記事について紹介をしました。休み時間や放課後の時間を使って発表の準備をした班もあり、どの班もすばらしい発表でした。そして、各クラスの中から一班ずつ優秀班を選出し、3月15日（月）1校時、学年発表会を行いました。当日は6組→2組2班→1組1班→3組3班→4組6班の順に発表を行いました。代表班の発表も立派でしたし、それを聞く姿勢も素晴らしく、とても良い発表会にすることができました。

また、その発表会では自然教室のスローガンが発表されました。学年全体から出された案を準備委員会で話し合い、決定しました。スローガンは『Let's have fun and smile together ~楽しく笑顔で~』です。このスローガンを達成するべく、これからも学年一丸となって準備を進めていきたいと思います。



3月15日（月）から19日（金）に、1・2年生を対象としたポッチャ体験会を体育館で行いました。ポッチャとは、ヨーロッパで考案された重度脳性麻痺者もしくは四肢重度機能障がい者のためのスポーツです。ジャックボールと呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれのボールを投げて、いかに近づけられるかを競います。

6組の生徒は、呼びかけのPR動画の撮影や試合の流れの説明、審判の練習など、準備から当日までの運営を行いました。参加生徒は、投げたボールがジャックボールに近づいたときや相手のボールをはじき出したときには大きな歓声をあげ、競技を楽しみました。また、仲間同士で投げる位置を相談するなど、温かい雰囲気の中で活動する様子が多く見られました。



学校評価

教務主任 藤井 正人

今回学校評価アンケートに御協力いただきありがとうございました。アンケート結果は、全体的に概ねよい評価をいただきました。

生徒アンケートからは、コロナ禍の影響で活動に制限がある中でしたが、生徒は例年とほぼ同じように学校行事（体育祭、文化祭）に積極的に取り組んでいることが伺えます。しかし、2年生の職場体験は体験活動ができず、インタビューのみになったため、昨年に比べて低い評価になってしまいました。また、部活動でも活動に制限があり、同様の評価を示しました。来年度に向けて制限がある中で活動内容を改善して、少しでも充実した活動にしていきたいと思えます。

保護者アンケートでは、特に、「学校生活を楽しむ」「体育祭、文化祭に意欲的」等 90%を超えた項目もあり、学校生活については充実していたという評価でした。しかし、教科指導に関しては、他のアンケート結果に比べると低いところが見受けられます。来年度から教科書が新しいものになり、観点も3観点に変更されるので、今まで以上に教科指導の向上や評価についての研修をおこなって、「より生徒にわかりやすい授業」をめざして、授業の中で「主体的・対話的で深い学び」、「言語活動の充実」、「顔が上がる授業」の実現をはかっていきたいと思えます。



2月25日（木）、1年生は Zoom を活用した職業講話を行いました。例年の職業講話とは異なり、今年度は講師の方を Zoom でつないだ“生中継”の形での実施となりました。テレビ画面を通しての講話でしたが、講師の方々の話にうなずいたり、熱心にメモを取ったりする生徒の姿が見られました。講話の最後には、生徒からの質問コーナーもあり、職業への理解を深めることができました。「働く」ということについての具体的なお話は、生徒の仕事への関心を高め、将来自分が働くことへの意欲につながったようです。

職業講話を実施するにあたり、戸塚法人会様に講師の方をご紹介いただきました。ご協力ありがとうございました。

～生徒ワークシートより～

・「人は他の人のために動く」という言葉が印象に残った。・働くということは、誰かのため、世の中の役に立つためなんだと学んだ。・物事に対する“前向きさ”が仕事に大切。・技術面は教えればできるようになるが、精神面は後で変えることが難しい。精神面を鍛えることが大切だと思った。・働くからには努力することが大事という言葉が印象深かった。



スクールカウンセラー相談予定日

スクールカウンセラーの来校日をお知らせします。相談を希望される場合は、事前に連絡をお願いします。不明な点等ございましたら、生徒指導専任教諭 木村 までご連絡ください。

上郷中学校電話番号 892-2478

相談場所： 心の相談室・教育相談室

相談日： 4月7日（水）、14日（水）、21日（水）、28日（水）



来月以降の主な予定

4月 7日 始業式・第7回入学式	4月 22日 尿検査・内科検診
8日 対面式・離任式	23日 授業参観（全日）
9日 視力・聴力・身体測定	心電図検査（1年）
15日 耳鼻咽喉科検診（1年+希望者）	修学旅行説明会（3年）
16日 懇談会	27日 横浜市学力・学習状況調査
19日 生徒朝会	自然教室説明会（2年）
20日 避難訓練	

『第6回卒業証書授与式より』



3年生の代表として、住友こころさんが「別れの言葉」を、堂々と気持ちを込めて話しました。

温かな心地よい風を頬に感じる季節となりました。本日は、私たちのために素晴らしい卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、先生方をはじめ、ご来賓、保護者の皆様にご臨席いただき、厳かに卒業できることを、卒業生代表として厚く御礼申し上げます。この良き日に、私たち144名は自らの手で夢をつかむため、上郷中学校を卒業します。

3年前の春、少し大きい制服に身をつつみ、迎えた入学式では、これから始まる中学校での生活に胸を高鳴らせていました。部活動や体育祭などは、私たちにとって初めての経験だったため、期待とともに不安も抱えていました。しかし、どの場面でも私たちを先導し、支えてくださった先輩方のおかげで、全力で取り組み、楽しむことができました。そんな先輩方の存在はとても大きく、輝いて見えました。私は文化祭の時、吹奏楽部の演奏で、全校生徒が笑顔に変わる光景を見て、努力して創り上げたものを通して人を幸せにすることの素晴らしさを感じることができました。

2年生となり、「先輩」と呼ばれる立場となった私たちは、その呼び名に気恥ずかしさを感じながらも、後輩を支える立場としての責任を感じるようになりました。この年、中学生になってから初めて仲間と行く宿泊学習である「自然教室」がありました。そこでは、農業体験を通して農業を営む人たちの苦労や、自然の大切さを学ぶことが出来ました。また、この2日間の体験を通して、仲間の新たな一面を知ることができ、より絆を深めることができました。この絆を体育祭や、文化祭などの行事に活かし、1年前より更に躍進したものを全員で創り上げることができました。

2年生の3月、これから最高学年として頑張ろうとしていた矢先、学校が休校となり、約3か月、仲間と会うことすらできませんでした。「今年の3年生はかわいそうだ」といわれることもありましたが、今年3年生だったからこそ、一日一日を大切に過ごしたり、周りの人に感謝したりする大切さを深く学ぶことができました。部活動の集大成である大会や、コンクールなどが次々と中止になり、当たり前のように行っていた体育祭や文化祭も、例年と同じ様には行えなくなってしまい、何とも言えない悔しさと、悲しみに涙した日もありました。しかし、先生方や、保護者の皆様が、そんな中でもできることを考え、開催のために様々な工夫をし、準備をしてくださったおかげで、大会や、コンクールに代わる場で3年間、培ってきた力を出し切ることができました。私は体育祭で、体育祭委員の皆さん・吹奏楽部の皆さんと協力して創り上げたオープニングがとても印象に残っています。初めて指揮を任せられ、練習では失敗をしてしまい、悔しい思いもしましたが、そこから更に練習を重ね、本番では校庭にいる全校生徒、そして先生方とともに華やかなオープニングを飾ることができ、達成感を感じられました。異例の事態が続いていた中で、生徒会長、部活の幹部として、思うように活動できていませんでしたが、今までの努力の成果を発揮できる場を先生方に作っていただけて、とても嬉しかったです。また、学校に通い、仲間と笑いあえることは当たり前ではないということに気がつき、残りの中学校での生活をより充実させることができました。そして、会えない悲しみを味わったからこそ、仲間と会える喜びをよりかみしめることができました。

在校生の皆さん、今まで私たちを支えてくださり、ありがとうございました。何事にも一生懸命に取り組む姿はとても輝いていました。これからの生活に不安を感じることもあるかもしれませんが、皆さんの周りには支えてくれる人がたくさんいます。仲間と協力して困難を乗り越え、上郷中学校のさらなる発展のため、頑張ってください。応援しています。

先生方、3年間私たちを指導してくださり、ありがとうございました。先生方の熱心なご指導があったからこそ、私たちはここまで歩んでくることができました。明日からはそのご指導を受けられないと思うと、不安もあり、寂しくもあります。しかし、いただいた教えや、言葉は決して忘れません。いつか更に成長した姿を見せることができるように、これからも努力し続けます。

ご来賓、地域の皆様、日頃から私たちを見守ってくださり、ありがとうございました。皆様に今日こうしてお祝いしていただけることを心から嬉しく思います。

私たちを15年間育ててくださった保護者の皆様、つらい時、苦しい時も私たちの心に寄り添ってくださいました。まだ大人になり切れていない私たちにとって家族はかけがえのない存在です。迷惑をかけることもあるかもしれませんが、これからもよろしくお願いします。

3年間共に過ごした仲間、今日がこの仲間が集まる最後の日だと思うと、今にも泣きだしそうです。私は皆さんと協力しあい、支えあい、笑いあった日々を決して忘れません。喧嘩をしたり、傷つけあったりしてしまったときもありましたが、今となってはそれすらもよい思い出です。明日から、それぞれの選んだ道を歩み出します。進んだ先につらいことや、困難なことが待ち受けていたとしても、私たちならきっと乗り越えられます。これまで支えてくださった人たちのためにも、自分の目標のためにも、ここで学んだことを胸に、それぞれの人生を全力で生きていきましょう。

私も皆さんに負けないように懸命に生きていきます。今まで本当にありがとうございました。

上郷中学校が更に輝きを増すことを心からお祈りし、答辞とさせていただきます。

令和3年3月11日 卒業生代表 住友こころ

在校生代表として、小林慈英さんが「送る言葉」を伝えました。

春風のみぎり、鳥のさえずりも華やかに、私たちの心も陽の光のごとく柔らかくなって参りました。卒業生のみなさん、本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同を代表して、心よりお祝い申し上げます。

入学したとき、一つ年上の先輩方はとても大きく見えました。そんな先輩方が優しく声をかけてくださり、まだ何も知らない中学校生活に期待をもったあの日のことを昨日のように思い出します。先輩方はいつも私たちを温かく支えてくださいました。その姿はまさに今、私たちが目指している理想の先輩像です。また、私たちに行事の素晴らしさを伝えてくれたのも先輩方でした。

仲間との協力、それぞれの個性を発揮した文化祭。美しくそして雄大な歌声が会場を包みこんでいました。そんな歌声に憧れを抱き、先輩たちに少しでも近づけるよう自分たちも合唱を全力で頑張ったことを覚えています。先輩たちから受け継いだ雄大な歌声を私たちが後輩に伝えられるよう仲間と協力をし、努力していきます。

それぞれの熱い思いを乗せた体育祭。多くの制限があるなかで、より充実した体育祭を実施するためにはどうすれば良いかを一生懸命考えてくださいました。そして、当日。みんなで声を掛け合い、体育祭を盛り上げてくださいました。活気あふれる体育祭を作り上げ、私たちに最高の時間を共有してくださった皆さんには感謝しかありません。全力を尽くし、常に前を向く先輩方の姿は、まさに、『向かい風でも前を向け!』を象徴しているようでした。勇ましく、凛々しい姿にとっても感動しました。

そんな先輩方と、今日でお別れです。そう思うと、とても辛く、不安な気持ちでいっぱいです。ですが、前に進まなくてはなりません。私たちは先輩方と一緒に過ごした日々を決して忘れることはありません。入学した時に感じたまま、今もなお私にとっては皆さんが大きな存在であり、未知の世界を切り開かれていく先駆者であり、希望でもあります。いつまでも私たちにとって憧れの存在でいてください。

本日、在校生代表として、先輩方が羽ばたかれる姿をこの目でみることができ、大変光栄に思います。私たちはこの先も上郷中学校の伝統を守り、受け継いでいきます。先輩たちが卒業した後でも心から誇れる上郷中学校であるよう一層の努力をして参ります。見守っていただけると幸いです。

最後に私たちを導き、励まし、支えて下さった先輩方に感謝の言葉を述べさせていただきたいと思います。

3年生の皆さん、これまで本当にありがとうございました。

ご卒業おめでとうございます。

令和3年3月11日 在校生代表 小林慈英